

平成 25 年度第 6 回青森市子ども会議開催概要 〈街グループ「マーチハンターズ」③〉

- 1 日時 平成 25 年 8 月 15 日（木） 9 時～17 時
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 マーチハンターズメンバー4 名（欠席者 7 名）
マーチハンターズサポーター2 名
事務局 1 名

4 開催概要

「街」に関係するテーマで活動していくグループ「マーチハンターズ」の 3 回目の活動内容です。

3 回目は、少ない参加人数ではありましたが、午前中は、前回までにまとめた内容をおさらいしながら、資料形式のまとめを仕上げていきました。

連日、暑い日が続き、せんぷう機と窓から入ってくる風、そして事務局で用意した麦茶や自分たちで持ってきた飲み物のみで暑さに耐え、汗だくになりながら、ハンターズのメンバーは自分たちの活動に集中していました。

そして、午後は商店街振興課職員に来ていただき、市役所が知っている商店街の現状や問題点、それらを解消するために市役所が実際に行っていることなどをお話してもらいました。

“ざっくばらんに”をモットーに、商店街にまつわるちょっと難しい話もしながら、ハンターズメンバーは、感じていることや疑問などをぶつけたりして、有意義な 1 時間があっという間に過ぎていきました。

このとき、サポーターから『商店街の活性化』と言うけれど、どうなると『活性化した』と言えるのか？』という大変キビシイ問いかけがありました。

これに対しては、「基本的に“正解”はないと思う。人によって感じ方、捉え方が違うだろうし、例えば街中にたくさんの人が集まってくるだけで『活性化』と言えるのかもしれないし、その商店街の購買量が増えれば『活性化』と言えるのかもしれない、いわゆるシャッター店舗が少なくなれば、それだけで『活性化』と言えるのかもしれない。さまざま捉え方があるだろうけど、“これ”という正解はないかなあ。」とっていました。

これに加え、「市としては『青森市中心市街地活性化基本計画』というものを作っていて、その計画に設けている数値目標というものをクリアすれば、ひとまず『活性化した』と言えるのかも。」ともっていました。

ハンターズのメンバーは、これらの内容についても入れ込みながら資料をまとめあげていました。



以上で、街グループ「マーチハンターズ」の夏休み開催は終了しました。

なお、商店街と体育施設に関する自分たちの考えをまとめる活動の続きは、次回の活動時に行う予定です。